

5. 交通調査基本区間の分割履歴

交通調査基本区間の分割履歴は、分割前後の交通調査基本区間番号の対応関係を、表 1-24 に基づき整理する。

[解説]

表 1-24 交通調査基本区間分割履歴テーブルとレコードフォーマット

No	項目名		単位	桁数	主キー	重複許可	備考
1	分割後	交通調査基本区間番号		11	○	○	
2		世代管理番号 (十の位)		1	○	○	
3		世代管理番号 (一の位)		1	○	○	
4	分割前	交通調査基本区間番号		11		○	
5		世代管理番号 (十の位)		1		○	
6		世代管理番号 (一の位)		1		○	
7	分割年月日 (データ有効期限 (自))		年月日	8		○	

※重複許可とは、同一項目に同じ値の入力が可能であることを示す。(ただし、2つの主キーを組み合わせた値は、同じ値になってはならない。)

「4.2 交通調査基本区間番号と世代管理番号」で示したとおり、一度付与された区間番号は原則として変更しない。これは、年次の異なる交通調査基本区間に基づき整理された、調査結果を容易に比較できるようにするためである。

区間の分割が生じた場合には、最も終点側の区間の区間番号は変更せず、世代管理番号 (十の位) を変更することで、分割履歴を追うことができる。しかし、新たに区間番号を付与する他の区間については、表 1-1 で示した交通調査基本区間データベースのデータだけから分割履歴を追うことは困難である。そこで、表 1-24 の交通調査基本区間分割履歴テーブルを作成する。

図 1-17 に、2011 年 12 月 1 日に区間番号が (0010-02) の区間が 3 分割された場合の交通調査基本区間分割履歴テーブルの作成例を示す。



分割後			分割前			分割年月日
基本区間番号	世代管理番号 (十の位)	世代管理番号 (一の位)	基本区間番号	世代管理番号 (十の位)	世代管理番号 (一の位)	
0004	0	0	0010	0	2	2011.12.1
0007	0	0	0010	0	2	2011.12.1
0010	1	0	0010	0	2	2011.12.1

図 1-17 交通調査基本区間分割履歴テーブルの作成例